

# やひこ 議会だより

190号

平成30年7月25日

弥彦村議会

〒959-0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作

TEL (0256) 94-3131 (代)

TEL (0256) 94-1028 (直通)

FAX (0256) 94-3216

<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>

Eメール:gikai@vill.yahiko.niigata.jp



村民体育祭  
ジャンボなわとび

## 6月定例会

新潟空港からの二次交通助成(総括質疑) …… P3

通学路の安全対策(委員会) …… P4~6

竹の子缶詰作り(みんなの広場) …… P7

村政を問う 8名(一般質問) …… P8~15

# 6月定例会

6月13日  
～  
22日

平成30年第3回6月定例会は、6月13日から22日までの10日間の会期で開催されました。

平成29年度及び平成30年度補正予算、村税条例改正の専決処分と、平成30年度補正予算及び、条例改正に

ついて、村長から提案された19案件を慎重に審議し、原案通り全会一致で可決いたしました。  
一般質問では8人の議員が観光・

福祉・教育・建設・人口減少などの村政の諸問題に対する質問を行いました。

## 6月定例会で決まったこと

### 平成29年度補正予算(専決処分)

#### ○一般会計

10660万4000円を追加し、総額を43億3539万2000円とする。

#### (歳入の主なもの)

- ・個人住民税 640万円
- ・地方交付金 2728万円
- ・寄付金 △1925万円

#### (歳出の主なもの)

- ・総務費企画費 △1248万円
- ・民生費
- ・社会福祉総務費 △504万円
- ・障害福祉費 △664万円
- ・予備費 5101万円

#### ○国民健康保険特別会計

78万6000円を減額し、総額を8億6255万2000円とする。

#### ○後期高齢者医療特別会計

56万3000円を減額し、総額を6852万8000円とする。

#### ○介護保険特別会計

174万円を減額し、総額を8億5200万4000円とする。

#### ○競輪事業特別会計

決算見込みにより余剰金1000万円を積立金に振り替えを行った。

#### ○温泉事業特別会計

74万9000円を減額し、総額を2336万5000円とする。

#### ○水道事業特別会計

収益的支出に47万を円を追加し、総額を2億1494万9000円とする。

#### ○下水道事業特別会計

収益的支出に98万3000円を円追加し、総額を4億6836万8000円に、資本的支出に41万2000円を追加し、総額を4億2612万8000円とする。

### 条例一部改正

#### ○村税条例

地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことによる。

#### ○国民健康保険税条例

課税限度額の見直し及び軽減判定基準が見直されたことによる

### 平成30年度補正予算(専決処分)

#### ○一般会計

800万円を追加し、総額を38億6800万円とする。

#### (歳入の主なもの)

- ・総務費 450万円
- ・観光費 554万円
- ・予備費 △204万円

#### ○競輪特別会計

歳出予算の組み替え  
・事業費 △1800万円  
・宿舍管理費 1800万円

### 平成30年度補正予算など

#### ○一般会計

330万円を追加し、総額を38億7130万円とする。

#### (歳出の主なもの)

- ・総務費 606万円
  - ・企画費
  - ・予備費 △434万9000円
- #### ○競輪事業特別会計
- 規定予算の組み替えを行った。
- ・事業費委託料 3200万円
  - ・積立金 △3200万円

### 条例一部改正

○弥彦村指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

平成30年度介護報酬改定に係る看護小規模多機能居宅介護の指定基準の見直しが行われたことによる。

○弥彦村地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法が改正されたことによる。

# 総括質疑

6月18日

**田中議員** 3月議会で提示のあった競輪場改修工事6億円の内容は。

**村長** 経済産業省で競輪事業について、今後10年間の方針を策定しており、積極的に競輪事業に取り組んでいる所を中心に運営していく方針。

懸念事項であった来賓席・記者席を常設化し、観覧席、売店なども含めて利益が出ているうちに改修したい。

## 女子選手の宿舍改修

**教育課長** 設計監理については、3月中に見積り合せにて契約した。工事入札についてはこれからである。

**村長** 学校関係の工事は特殊で、災害復旧等を考慮し、特定業者に依頼してきたやり方を、踏襲するかを検討したい。

**田中議員** 競輪施設整備改修工事監理委託料3200万円。来賓席、記者席などの新設と補足説明を受けた。工期はいつまでか。

**公営競技事務所長** 提案型。プロポーザル方式で設計業者を決定し、来年の記念競輪までに工事を完了したい。

**田中議員** 3月議会で提示のあった競輪場改修工事6億円の内容は。

**村長** 経済産業省で競輪事業について、今後10年間の方針を策定しており、積極的に競輪事業に取り組んでいる所を中心に運営していく方針。

懸念事項であった来賓席・記者席を常設化し、観覧席、売店なども含めて利益が出ているうちに改修したい。

## 女子選手の宿舍改修

**教育課長** 設計監理については、3月中に見積り合せにて契約した。工事入札についてはこれからである。

**村長** 学校関係の工事は特殊で、災害復旧等を考慮し、特定業者に依頼してきたやり方を、踏襲するかを検討したい。

**田中議員** 競輪施設整備改修工事監理委託料3200万円。来賓席、記者席などの新設と補足説明を受けた。工期はいつまでか。

**公営競技事務所長** 提案型。プロポーザル方式で設計業者を決定し、来年の記念競輪までに工事を完了したい。



空港からの観光客増加に期待

帰り感覚なので、荷物が少ない、特に若い女性が多いという情報から、その辺の年齢層にターゲットを絞って料金設定をして、新潟から弥彦までのタクシー料4000円を補助する予定。利用者が多い場合は追加補正をお願いしたい。

の人数が多ければよいが、少ないと市町村の持ち出しとなるので難しい。

**新潟空港から彌彦神社までのタクシー補助の内容が決定**  
7月15日から運行  
利用料は大人一人2000円、小学生以下は一人1000円、未就学児は無料で2人以上の利用から運行するが、事前予約が必要。  
費用総額12000円のうち、利用者負担額を控除した金額の半分を補助金で賄い、残りの半分を弥彦村が負担する。

## 新潟空港からの

### タクシー補助

**安達議員** 観光費、補正額が60万円の内容は、新潟空港二次交通整備事業補助金で、新潟空港から弥彦までタクシー料金を補助するという説明であったが、対象は外国人なのか。誰でも良いのか、詳しい条件を伺う。

**観光商工課長** 航空会社ピーチに乗るお客さんの情報は、運行料金が安いという形で日

**板倉議員** 今の関連で、このシステムはどの様に行われるのか。

**観光商工課長** 現在弥彦観光協会と温泉旅館組合で協議中。旅館・ホテルが窓口になるか、観光協会がなるか検討中。

**板倉議員** シャトルバスも含めて岩室と合同でやった方が経費的に安くなるのでないか。

**観光商工課長** 県の担当者・岩室とも協議中だが、シャトルバスについては、お客さん

運行は空港を午後1時30分発で神社までの片道のみとし、弥彦観光協会へ利用する前日までに申し込みすることで利用できることとなった。

付託された補正予算  
3案件、条例改正1案  
件は村長提案のとおり  
全会一致で可決しまし  
た。

主な質疑事項

平成29年度・30年度  
専決補正予算

村長提案のとおり承認する  
ことに決定しました。

平成30年度補正予算

**問** 地域おこし協力隊に係る  
報酬増額は、5月に1名、さ  
らに1名追加によるもの。増  
員する理由とそれぞれの具体  
的業務内容は。将来的に観光  
協会で雇用する考えは。

**答** 5月採用者は、観光案内  
所の補助業務とおもてなし広  
場の仕事をし、7月採用者は、  
役場でふるさと納税の返礼品  
に係る業務や、語学堪能であ  
るため、ホームページを外国

語で紹介する業務を考えてい  
る。地域おこし協力隊の制度  
が続く限り続けたい。

**問** コミュニティ事業助成金  
330万円はどの地区に対す  
るものか。この助成金を活用  
するための周知方法は。

**答** 宝くじからの助成金で、  
助成地区は麓一区・西境江地  
区の自主防災組織で、防災倉  
庫、投光器、テント等で20  
0万円、その他は井田地区で  
エアコン2台、冷蔵庫等13  
0万円である。区長会や防災  
会議で説明し周知している。

条例改正

村長提案のとおり可決する  
ことに決定しました。

付託案件外

**問** 学校給食でアレルギーの  
ある生徒に対し、代替え献立  
等問題は。特別アレルギー症  
状を持つ人数と、特別食が必  
要な人数は。

**答** 小中学校兼務の栄養教諭  
がアレルギーのある児童・生  
徒の家庭と連絡をとりながら  
症状を把握、該当者にはアレ  
ルギー物質を含まない食材で  
調理している。現在事故報告  
はない。小学校で代替え食6  
名、本人が取り除く児童は18  
名。中学校では代替え食2名  
本人が取り除く生徒は12名で  
ある。

**問** 4月の小学6年生、中学  
3年生の学力調査の結果は。  
学力差の出ている原因は。

**答** 小学6年生は全国平均を  
少し下回り、中学3年生は全  
国平均を上回っている。  
生活習慣がしっかりしてい  
る学年は、家庭での学習習慣  
があるため学力が高い。基本  
的な生活習慣を身に付けさせ  
ることで、この効果がより反  
映される。

**問** 税込減少により財政力指  
数は0.42ほどであるが、0.5  
以上にする方策は。

**答** 現在税収が急激に増える  
要素はない。方策としては、  
新規法人の誘致である。

**問** 新潟市の下校時に起きた  
悲惨な事件や、大阪北部地震  
で登校中に児童が犠牲になっ  
た。通学路の安全対策検討と、  
防犯カメラ設置や防災無線で  
の注意喚起を。

**答** 学校施設、通学路の安全  
再点検を実施したい。地域住

民の方への周知方法、一人で  
歩く区間において地域連携が  
必要である。防犯カメラは現  
在設置はないが、コンビニ等  
設置しているものを代用し、  
防災無線も検討したい。

**問** 災害時の避難地として、  
山形県飯豊町との相互協定締  
結の進捗は。

**答** 飯豊町へのアクションは  
まだ起こしていない。



みんなで食べるとおいしいね！

付託された専決補正  
予算8案件、補正予算  
2案件、条例改正2案  
件は村長提案のとおり  
全会一致で可決しまし  
た。

付託案件外

**問** 黒滝要害線、黒滝城址か  
ら先が通行止めになってい  
るが補修の考えは。簡単に人  
が入れる危険な状態である。

**答** 現在、地盤沈下や倒木の  
ため通行止である。現場を再  
確認して対応したい。

**問** 職員に点字や手話対応の  
職員はいるのか。

**答** 点字や手話の対応はでき  
ないが、必要な時は社会福祉  
協議会にお願いしている。

**問** 村の介護施設で職員によ  
る虐待はあるのか。

**答** 昨年1件虐待の報告があ  
り、調査したが確認できなか  
った。年度末にも1件の通報  
があり、現在調査中である。

**問** 社会福祉協議会の生活支  
援ハウスで入所者の事故があ  
った。報告の内容は。また、  
村内の3施設の管理体制は。  
今回の事案を社会福祉協議会  
の第三者委員会に諮ったか。

**答** 村への報告では6月9日  
土曜日の10時30分に職員が声  
掛けした時、部屋で倒れてい  
た。すぐ心肺蘇生を行い救急  
要請をし、病院に搬送された。  
村の管理監督責任は認識して

いる。第三者委員に諮る事案  
とは考えていない。

**問** 伊彌彦米の生産農家や収  
量は増えているか。ふる里納  
税の返礼品として間に合うの  
か。

**答** 作付状況ではJAの部会  
も県認証を取得したことで、  
30年産コシヒカリの全生産の  
51・6%が伊彌彦米である。  
昨年より多く確保するよう努  
めている。



林道黒滝要害線の現状



生活支援ハウス「ほがらか荘」

**問** 村内に民泊の許可施設は  
あるか。観光協会のホームペ  
ージが以前より見劣りしてい  
る。また、ライブカメラも静  
止画になっている。イメージ  
ダウンではないか。

**答** 民泊の許可施設はない。  
ホームページは操作でライブ  
動画が見られる。

**問** 談合疑惑裁判の経過対応  
について、早期決着のため村  
長が一審の判決を受け入れ円  
満和解の決意はあるのか。

**答** 私としては日本の裁判制  
度の三審制に従って行動した  
い。原告側が訴えを取り下げ  
れば円満解決と思う。

# 改善される競輪場施設

6月18日

付託された案件は、平成29年度補正予算、平成30年度補正予算2案件は全会一致で村長提案のとおり、可決しました。

付託案件外の質疑前に平成29年度及び30年度競輪売上げ状況、ミッドナイト競輪の売上げ状況報告、競輪場施設改善計画などの説明がありました。

## 付託案件外

### 競輪選手宿舍

**問** 宿舍の宿泊室で男女の区分けはどこですか。

**答** ガールズ競輪開催時の参加女子選手は14名であり、2階を使用する。



ガールズ競輪に対応する宿舍

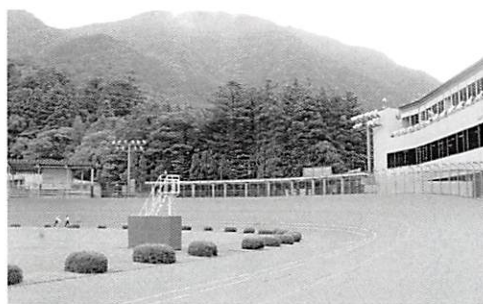
### 個別外部監査

**問** 個別外部監査は再度提案する考えはあるか。

**答** 競輪事業が順調であるので提案は取り止めた。

### ナイター競輪の開催

**問** 弥彦でのGⅢナイター競輪の開催は。



来賓席・記者席が常設される競輪場

**答** まだ開催できる環境でない。ナイター競輪開催の環境が整い、収益が見込める事になれば誘致したい。

### 開催日程調整

**問** 競輪開催日程は今後施行者間でなくJKAが調整するようになるのか。

**答** そのような方針で中央団体等において協議されているが、まだ結論が出ていない。

## 6月定例会 議決結果

※報告、承認を除く

提出者	議案	採決結果	本多啓三	板倉恵一	田中満男	柏木文男	安達丈夫	本多隆峰	小熊正	花井温郎	赤川幸子
6月定例会 村長	平成30年度弥彦村一般会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度弥彦村競輪事業特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度弥彦村水道事業会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	弥彦村村税条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	弥彦村指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	弥彦村地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# みんなの 広場

今回から「みんなの広場」で村民の声を直接お聞きするコーナーとなりました。直接皆様とお会いしてインタビューをさせていただきますのでご協力をお願いいたします。

改善センター農産加工室の利用（4人以上）は12集落の27グループから利用いただいています。山崎の利用者からお話をお聞きしました。

**司会** 皆様より竹の子缶詰加工についてお聞きすることになりました。

**グループ** 解良節子です。石井節子です。立川真由美、立川佐智子です。



山崎グループの皆さん

**司会** いつから竹の子缶詰を作り始めましたか。

**グループ** 改善センターの利用する前は、私たちの母親が井田山にあったブドウ組合の旧事務所があった婦人の家（昭和年代）から引き続き缶詰を作っています。

**司会** 缶詰作りは期間が限定されます、日程調整はどの様に決めますか。

**グループ** クループ代表が集まり抽選を行い初日は5月1日から最終日5月18日の間でした。



缶詰作りの作業の様子

例年は平日及び土・日利用でした。現在は3台稼働していますが今年から機械が故障すると大変なので平日利用にしました。

**司会** 缶詰を作る個数制限はあるのですか。

**グループ** 利用日数ではなく自家用で消費しますので1グループ120缶を作れば終わりです。

また缶詰めの缶は有料で村から買います。

**司会** 缶詰を作る工程を教えてください。

**グループ** 竹の子をお湯の中に準備し、缶詰の中に竹の子を詰め、お湯を注ぎ蓋をする。窯の中に詰めた缶詰を準備するには最低4人が必要です。準備をして全て完成するまで3時間位かかります。

**司会** 缶詰は、竹の子以外に作りますか。

**グループ** 私たちは竹の子だけです。他のグループはあんこ、煮菜、お粥、トマトジュース、ジャムを作っています。

**司会** 農産物加工室を利用していて、要望・希望がありますか。

**グループ** 今年の利用は平日のみでしたが、グループの中には平日は無理な人もいます。

来年は土・日曜日の利用ができるようにしてください。施設を利用するには4人のグループでないと利用できないが、ほかのグループの中に入って利用できないでしょうか。最初から利用している釜が古くなってきています。壊れる前に更新をお願いします。

**司会** 今日はお話しをいただき大変有難うございました。

## 弥彦山登山道の整備はどこが管轄か

村長 = 弥彦村の管轄になり、村・神社・  
山岳会・県と協議して整備を行いたい



安達 丈夫 議員

**質問** 登山は自己責任であり、小さな山からエベレストのような危険な山もある。弥彦山では、彌彦神社側から登るコースなどいろいろある。安全に楽しく登れる登山道の整備や管理はどこが行っているか。

昨年末から通行止めとなつている彌彦神社側登山道は、登山者も多く、弥彦観光にも大いに関係していると思う。

登山道の整備は多額な経費と労力が必要と思うが、半年もの登山禁止では弥彦村のイメージダウン



登山道の注意看板

山道の整備は地元山岳会のボランティアで行われており、村としては補修に係る資材を観光施設管理費の維持修繕費で支援してきた。

村外から登るコースは、登山口のある市町村や山岳会で管理や整備を行っているという。

**質問** 登山を行う場合は、危険を伴うので基本は自己責任で行うものであるが、登山道に橋や柵などを整備した場合に維持管理の不備によりケガなどが発生した場合は、整備したところが責任を問われる場合があると聞く。

にならないかと心配である。

今日現在、整備も終わり、明後日に山開きが行われるとのこと、弥彦村登山道の維持管理の現状と今後の取り組みを伺う。

**村長** 弥彦山は、大部分が彌彦神社の所有と個人の私有地であるが、表参道の登山道は、平成14年11月に国有地の払い下げがあつた際、翌年国から譲与を受け、現在は村の所有地となつている。

登山道の整備は地元山岳会のボランティアで行われており、村としては補修に係る資材を観光施設管理費の維持修繕費で支援してきた。

登山道を登りやすく整備を行えばそれに連れて責任が大きくなるという、親切心が仇になる場合があるので慎重なる整備にあたってほしい。

7合目に水飲み場がある。そこは絶えず水が流れていて、晴天が続いたときでも水が流れて、いつも水はけが悪い。小さなU字溝でも設置してほしい。

**村長** 登山道は、弥彦村の所有地であり、責任もあるので危険箇所は当然整備しなければならないと思う。

村が勝手にやるのではなく、歴史的な彌彦神社の御神火が登る参道でもあるので、村だけではなく神社、山岳会と関係者、あるいは県と協力しながら行っていきたい。

弥彦山は気軽に登られて、頂上からの眺望は素晴らしい山である。今後も親しまれる弥彦山になるよう登山道整備を進めて行きたい。





柏木文男 議員

## 弥彦村総合計画及び 弥彦村総合戦略での人口対策は

村長 = 人口対策の一番は教育である

**質問** 総合計画が地域づくりの最上位で平成21年度に総合計画を作成した。総合戦略は、人口ビジョンは平成26年国から示され、都道府県・市町村創生総合戦略の作成に基づき、人口の現状と将来を示した。

総合計画は人口が平成30年推計8850人、総合戦略は平成32年8366人、現在人口は8214人で両計画は大きくかけ離れている。

総合計画が平成30年に終了する。予算計上はないが作成するのか。

総合計画の人口算定は県推計人口調査、総合戦略は人口展望は合計特殊出生率で整合性がない。村も人口減少が始まりどの様な対策を取ったか。

石川県能美市は若者向け施策充実で、10年余りで6%の人口増加を実現した。

村は29年度医療費助成を18歳まで拡大、県内市町村では幼児窓口負担530円をなくし、完全無料化が進んでいる。若者向け転入を考え子育て施策充実で人口対策ができると思うが。

**村長** 総務省が地方消滅で全国896自治体が将来消滅と発表、地方創生戦略自治体の将来人口ビジョンを義務付けた。村のビジョンは学年2クラスを維持目標に2060年人口6554人を目指す合計特殊出生率1.8と目標を定めた。

平成27年国勢調査8209人で次回調査は8000人を下回ると思う。人口減少推計が甘かった。ある程度人口が維持されてきたが人口減少の問題意識対応が遅れ気味になった。

平成27年村移住促進事業補助金を創設し移住促進に取り組み、定住が期待できる。以前は宅地造成が中心でソフト面がない。空き家対策を含め移住対策をしたい。

第6次総合計画作成はプロジェクトチームを編成しコンサルに任せず職員で作成する。ただ、一番難しい人口推計だけはコンサルの力を借りる。

総合計画、総合戦略は時間的制約もあり整合性がとれなかった。

能見市は県内屈指の産業集積地で雇用が豊富で現役世代が多く居住し子育てに対する支援対策と認識している。



人口増加に貢献したきらめき団地

**質問** 出生減で将来1保育園になってしまう。村長は今後の人口対策を考えているのか。

**村長** 村は環境がよく、新潟・長岡市の通勤圏で弥彦の特性を生かし、教育で最高の村を作ることが将来的に一番と考える。

**要望** 私も同感である。すぐに結果は見えないが、教育の充実だと思っている。奨学金を受給し県外Uターン者に償還金額の検討や、子育てしやすい環境づくりを願う。

## 様変わりしている 観光状況の対応は

村長＝弥彦の魅力を発信していく



田中満男議員

**質問** 格安航空会社（LCC）の就航で、新潟空港の利用客が増え、観光客の増加が今後も見込まれる。また、県は新潟東港を整備し、16万トン級の大型クルーズ船も寄港できる。来年4月だけで、今までの大型船が2回も寄港し、8時間滞在する予定。クルーズ船での観光客は富裕層で、大きなビッグチャンスになり得る。今から施策を検討してはどうか。

**村長** LCC対策は、新潟空港へ弥彦までのタクシー輸送は、申請済みで7月中に開始できる予定。観光協会と温泉観光旅館組合とで、合同戦略会議を設けて弥彦観光が潤うためのプランが、多数用意できるところを期待している。

平成27年に新潟港クルーズ客船受入協議会に参加し、会として対策を協議、実施している。昨年の実績はオプショナルツアーにより15名が、彌彦神社に訪れている。乗客は富裕層が多く、タクシー等を自分で手配し、自由な散策を楽しむケースが多いと報告があった。**観光工商課長** 来年は乗客数が多数見込まれるので、二次交通部会を立ち上げ、大型バス50台以上で、

移動の足を整える準備を始めた。今後、観光に関する部会を随時立ち上げ対応していく予定。

**質問** 県は東京駅隣接の観光案内所「※注TIC TOKYO」と県内14の観光案内所をテレビ電話などでつなぐ「ネットワーク化」に取り組み、首都圏を訪れる観光客に新潟県を売り込み、観光案内所同士が連携して県内広域の周遊を促すことで、滞在日数を増やす目的がある。弥彦村も是非参加すべきではないか。

**村長** 昨今の観光情勢は目まぐるしく変化している。弥彦も魅力を発信し乗り遅れることなくPRしていきたい。

**観光工商課長** 現在参加していないが、今後の状況を見て検討する。



機能が問われる観光案内所

### 運動部活動の在り方

**質問** スポーツ庁の総合的なガイドラインが、3月に発表され、学期中は週2日以上を休養日とし、1日の活動時間は平日で2時間、休日は3時間程度にまで抑えるよう求めている。上位を目指してチームが一丸となって努力することは、大変尊いことだと思う。しかし、授業や家庭学習がおろそかになるほどの練習はどうか。

**教育長** 弥彦村は燕市と合同の検討委員会の方針を策定していく。来年度からは郡市大会は廃止され、弥彦中学校は、中越地区大会から始まり、県、北信越、全国大会へとつながっていくことになる。

**質問** 運動部活動の在り方について、部員不足により他校との合同チームで大会に出場したと聞いた。本校内での、助っ人によるチーム編成はできないのか。

**教育課長** 現状では、野球部だけ人数が少ない。今の所その様な形での合同チームは考えていない。他は多過ぎて大会に出られない生徒もいる。

※(注) TIC TOKYO = 訪日外国人及び国内旅行者が東京をはじめ日本全国の観光情報、関連情報を手軽に収集できるように2009年6月に開設された案内所。



板倉 恵一 議員

# 災害時弱者の避難個別計画の状況は

## 村長 = 自然災害が多くなっている 現在早急に対応したい

**質問** 平成28年障がい者差別解消法が施行され、技術の進歩に伴い、暮らしにくさが解消されつつある。

しかし、外見だけではその有無が分かりにくい障がいについては、周囲の理解が不十分であり、様々な人権侵害が生じている現在、これらの背景には、障がいについての正しい知識が身に付いていないのも原因の一つと思われる。

自分とは関係ない。特別の人。と思う人もいる。病気や事故で障がいを受けた人もいる。人間は年齢を重ねれば少しづつ体が不自由になる率も高くなる。誰もが住みやすい村を創ることは、すべての村民の思いである。

昨年「弥彦村障がい者団体連絡協議会」から要望書が出された中で、災害時弱者の避難個別計画が出されたが、現在の状況を聞きたい。

**村長** 平成20年度に弥彦村災害時要援護者支援プランを策定し、名簿の策定と援護の必要な方の情報共有と状況把握を行ってきたが、平成25年に法の改正があり、村では新たな支援計画を策定した。

自然災害が多い現在、名簿を基

に地域の自主防災組織が中心となつて避難体制の推進を図りたい。

**質問** いつ、どの様に施行するか。

**総務課長** 対象者423名が同意。同意者名簿はまだ全集落に渡っていないため、まずはそこからスタートする。各区長・町内へ配布をはじめたが、7月7日のシンポジウムから始めたいと思う。

**質問** この名簿を基に毎年行われる防災訓練の時、各集落で避難訓練の指導ができないか。

**総務課長** 今後これを基に避難訓練をしたらと思っている。

**質問** 次に身体障がい者補助犬法について伺う。

平成14年から施行され「国・地方公共団体・公共交通事業者・不特定多数の者が利用する施設の管理者は、身体障がい者が利用する場合、身体障がい者補助犬の同伴を拒んではならない」とある。他の自治体では「障がいを理由とする差別を解消するために」の勉強会を行っているが、弥彦ではどうか。また、商工会・観光協会・旅館組合・村民に広報等含めて周知啓蒙して欲しい。

**村長** 村は昨年弥彦村職員対応要領の手引きを策定し、勤務時間終了後43名の職員で研修を実施した。補助犬同伴については、受け入れ可能な施設が増えるよう周知すると共に広報等でも周知する。

**質問** 昨年ある方が村の検診時盲導犬を連れて行ったら、スタッフの皆さんが大騒ぎをしたと言う話を聞いた。職員研修の未受講者には今年受講してほしい。この研修は国の指示か。

**福祉保健課長** 村で作り、村で考えて研修会を行った。

**質問** 2020年にはオリンピック・パラリンピックがある。全村に障がい者に対するパンフを配布するのみでなく、どうしたら読み、理解してもらうかである。

**福祉保健課長** 機会を捉えて周知したい。



ほじょ犬受け入れシール

## 談合疑惑裁判の 早期結審について

村長 = 日本の裁判は三審制と承知



本多啓三議員

### サイババ騒動の検証

**質問** 今回のサイババ騒動をどのように検証し、今後に活かしていくか。

**村長** 今回の入札は法的に全く不備はなく、村としても従わざるを得ない案件であった。予測できない問題が起きた場合、首長の判断がぶれず最後まで通すことを肝に据えていかなければならない。

**意見** この騒動が最善の結果となり私も喜んでいる一人であるが、相手の会社に対し一村民が村のため誠心誠意話し合った経緯があることを申し上げたい。

### 談合疑惑裁判の

#### 早期結審について

**質問** この件に対し再三、一般質問するのは、処分を行った村長が談合事実の調査を行い、自ら認定し処分をしていることである。本来指名停止の多くは司法権等の発動とも言われる公正取引委員会や、労働基準監督署の処分を機縁としてされるのが通常である。指名停止から3年になり裁判も終盤に入っている。村はどのような判決に

なっても結果を真摯に受け止める考えはあるか。

**村長** 日本の裁判制度は三審制であると承知しているとしかお答えできない。

**意見** 判決結果には、送達された日から2週間以内に不服がある場合、原告・被告とも控訴できる。控訴せざるを得ない場合、控訴費用及び地方自治法第96条第1項第12号で議会の議決承認が必要である。控訴の場合は、必ず議会の承認が必要であり、開催時間は十分あることを申し上げたい。

### 最終年度を迎えた

#### 選挙公約の実現は

**質問** 選挙公約の一番の柱は、木質バイオマス発電所を建設し、その売電により村の財政基盤の強化を図ることであった。就任早々の材積量調査委託では、実現可能な発電規模は1kw未満であり、木質バイオマス発電事業の実現は難しいとの報告であった。28年度材積量調査費100万円は全額減額。29年度・30年度とも調査費の予算計上さえしていない。選挙戦で村民と交わした約束についてど

のように考えているか。

**村長** これまでの議会答弁では、技術開発ができるまで見守り調査すると申し上げ、断念とは言っていない。いつ技術開発ができるかわからないが、少ない材料でコスト的に良質な電力がつくるかもしれない。

**質問** 28年8月の全員協議会で村側からの報告書に、調査結果では発電所建設は無理であり、今後事業化を前提とした調査委託はしないとし、全額を減額している。まだ、諦めないという考えか。

**村長** 28年の調査では無理との結論が出ている。財政力強化のため、財政に穴をあける訳にはいかない。



村有地売却にかかる住民説明会



小 熊 正 議 員

## 今冬の寒波や大雪の除雪対策は

村長 = 行政と関係業者で協議したい

**質問** 今冬も強い寒気が断続的に流入したため、各地で大雪や寒波に見舞われ、弥彦山登山道では死亡事故が発生した。各町内や集落では除雪作業や消雪パイプの消雪が思うようにできず、通勤通学に影響があった。今年の除雪体制について伺う。

**村長** 除雪状況は全村一斉が14回、山手方面の部分除雪が3回、役場の除雪車のみの出動が10回の合計27回。月別では12月2回、1月11回、2月14回である。平年を上回る降雪となり、除雪作業が追い付かず雪の捨て場に困る状態であった。5月29日に区長会の会長、副会長及び委託業者・建設企業課職員による意見交換会を開催し、除雪対応を協議した。

**質問** 除雪に対する苦情内容は。  
**村長** 除雪車の到着が遅い、通勤通学前に除雪を終わらせてほしい。除雪した雪が道路脇に残って道路幅が狭くなり車のすれ違いができない。消雪の水の出が悪いなどが主な内容であった。

**質問** 職員が除雪作業に出動した作業日数と経費について伺う。

**村長** 除雪出動回数が27回除雪車に従事した職員が10名で超過勤務

手当は122万8000円であった。

他に除雪車の維持修繕費が54万7000円。除雪業者8社への委託料で384万5600円。除雪車の賃貸料が1063万円である。

**質問** 除雪委託関係会社、委託業者の委託状況は。

**村長** 昨年度は8業者に委託した。除雪委託関係会社、委託業者が少ないか検証する。遅延の要因は、雪の置き場が少なく降雪量が多く処理に時間がかかった結果と考えている。大雪の場合、安心安全についてはいろいろな手段をとりたい。

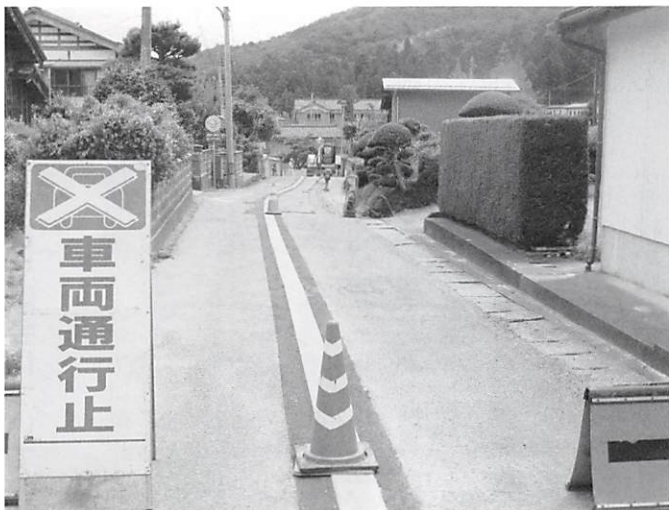
**質問** 今年の冬の消雪パイプによる消雪ができなかった地域が多かった状況と対策は。

**村長** 5月の意見交換会で余りにも大雪のため消雪が追いつかず雪が残った。消雪の水の出が悪いなどの意見があった。水の出が悪い要因は大量の地下水をくみ上げたことで水位が低下し、ガスが発生

したことや、消雪施設の老朽化による制御盤の動作不良や送水管及び散水管から漏水などである。消雪井戸の掘り直しや施設の更新が必要であり、多額の費用がかかるため、毎年優先順位を決めて年次的に更新していきたい。また、機械除雪の対応も考えている。

**質問** 登山道入口から茶屋までの間、両脇は全部杉林である。枝に積もった雪が落ちてきて危険なので看板を立てられないか。

**村長** 看板は、神社や山岳会、県などと相談しながら対応したい。



消雪パイプ更新工事

# 眠育講演会の開催は

教育長＝10月「心の教育授業」で行う



赤川 幸子 議員

## 眠育について

**質問** インターネットやスマホ等の普及や親の勤務形態の多様化により日本全体が夜型傾向になる中で、睡眠時間の減少、夜更かしといった生活習慣の乱れが子どもにも影響している。

**教育長** 子ども達が健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、そして十分な休養、睡眠などを含めて、子ども達の基本的な生活習慣を身に付けさせていくことが重要であると考える。眠育は、その中の一つの取り組みとして、とても重要である。

現代は親が先に寝ても、まだ子どもは夜遅くまで夜更かしできる状況が生まれやすい。改めてこの眠育を大人も自分の問題として考え、子ども達自身にも指導していく必要がある。

## 質問

眠育は特に脳の疲労回復が重要である。脳が疲労すると様々な問題が起きてくること、最近の調査で分かってきた。子どもにとつて眠りと食事は体を成長させるだけでなく、脳と心の成長、発達のためにも欠かせない。眠育講演会の開催をしてはどうか。

**教育長** 子ども達が大事な成長段階で、安定した生活を送るためにも眠育は欠かせないと思う。10月に心の教育授業として小学校高学年から中学生を対象にした講演会を計画している。保護者の皆さんにも案内をしていきたい。



眠る子は育つ 眠育を

## 子ども議会について

**質問** 中学3年生は毎年1回黒崎パーキング等で「ふるさとキャラバン隊」として弥彦村の特産品を持参して、一生懸命に村のPRしている。生徒の意見、提言を聞く、子ども議会の開催はどうか。

**教育長** キャラバン隊は、10月第1土曜日に黒崎パーキングで樽太鼓や笛、木遣りの披露をして村のPRとプレゼント活動も公表を得ている。ふるさとキャラバンは、小学校から9年間のふるさと学習の集大成となる取り組みである。

子ども議会は、子ども達が村に対して発信するのは意義がある。しかし、現在成果が上がっているふるさと学習を見直し、子ども議会を新たに位置づけることは授業数の点を含め難しいと思う。本年度から新指導要領完全実施に向け、新しい活動も始まっているので、学校に負担をかけられない。



本多隆峰議員

## 生まれ変わる弥彦村 その成果と課題について

村長 = 行政の村づくりと  
地域を担う人材づくりの両方で

**質問** 弥彦村総合戦略「生まれ変わる弥彦村」として、4つの取り組み目標を掲げ今日に至っている。

1 弥彦村の核となる農業の推進  
2 弥彦村の資源を活用した観光の推進

3 ここで子どもを育てたいと思われる村づくり

4 住みたい村、住み続けたい村 弥彦村の実現

これらの成果と今後の取り組みは。

**村長** 弥彦村の核となる農業の推進については、弥彦産コシヒカリをブランド化し、米づくりの基盤をより強固にした。伊彌彦米は、ふるさと納税返礼品として高い評価を得ている。今後もより一層のPRを行い、農業所得の向上につなげていきたい。また、農業と観光の連携として、おもてなし広場の農産物直売所で、伊彌彦米や地元農産物を販売し、農業と観光の連携が深まり、一体的な進捗を図ることができた。今後は、圃場整備事業、園芸作物の産地発展支援、米依存からの脱却、観光と農業の一体的な進捗をさらに目指したい。弥彦村の資源を活用した観光の推進については、本村のもつ豊富な観光資源の点と点を結ぶ動線が

整備されていなかったと考える。

彌彦神社、おもてなし広場、駅前広場へと観光動線を伸ばし、更なるにぎわいを期待するものである。

ここで子どもを育てたい村づくりは、婚活支援、医療費などの子育て支援、保育支援、養育の充実、学力向上支援などを進めている。

婚活事業推進のための実行委員会を立ち上げ、行政と民間が協働してイベント企画、運営も進めていく。保育料の軽減を図り、休日子育て支援事業では施設の整備により利用者は29年度108人の実績であった。病児・病後児保育事業では、通常保育委で95人、早朝保育で32人、延長保育で42人の利用があった。

学校教育では、学習指導支援講師の配置、地域コーディネーターによる学校と地域の連携強化、いじめ・不登校対策としてスクールソーシャルワーカーの活用を継続し、小・中学校とも落ち着いた状況で学力向上が図られている。

住みたい村、住み続けたい弥彦村の実現については、若者・女性人口の減少抑制、移住促進に向けて支援体制が挙げられており、空き家活用、企業誘致、移住促進、

災害対策、地域公共交通などが対象事業となっており、よりよい形を目指して、継続して取り組んでいくことが大切であると考えている。

「生まれ変わる弥彦村」の実現のために、弥彦村塾を組織し、農業や観光を中心に18名の塾生が所属している。業種を超えて交流し、地域を担う人材の育成に取り組んできた。

行政が行う村づくりと、地域を担う人材づくりの両方を行うことで、「生まれ変わる弥彦村」の実現に向けて取り組んでいきたい。



弥彦村塾の受講模様

## 全国競輪主催地議長会総会報告

6月1日、都市センターホテル

(東京都)で「第122回全国競輪主催地議長定期総会」が開催され、最近の競輪事業の状況について、公益社団法人全国競輪施行者協議会の三井理事長から報告がありました。主な内容をご報告いたします。

全国の競輪の売り上げは微増であるが4年連続で上昇している。一方、競馬やボートは近年10%以上の伸びとなっているが、競輪は組織力が弱く、いかに人材育成と財源を確保していくかが、今後の課題である。

全国の43ある施行者のうち、29年度の一般会計への繰出し額が3億円以上が5、1億円以上3億円未満が20、1億円未満が10、繰出金なしが8であるとし、すべての施行者が繰出しできるように収益の向上に努力していきたいとのことでした。



全国競輪主催地議長会総会のようす

## 全国町村議会議長・副議長研修会報告

### テーマ「これからの町村議会を考える」

5月31日、全国町村議会議長・副議長研修会が東京で開催されました。

始めに町村議員のあり方について基調講演があり、議員のなり手不足の問題には、①専門性がより求められ、拘束時間も長い、②議員報酬だけで生活できず、若い世代の参加が難しい状況であるとのことでした。

また、議員活動の魅力を発信するため、住民への議会報告や意見交換会の場を設けていくことが重要であるとのことでした。

その後、4つの町議会の取り組み実例の発表があり有意義な研修となりました。



全国から約1700名の町村議会議長・副議長が参加

## あとがき

西日本豪雨は、想定をはるかに超える豪雨により、河川の決壊、土砂災害を生じ、各地で多くの犠牲者を出し、多大な被害に及んだ。被災者に対して、謹んでお悔やみと、お見舞いを申し上げます。

近年、弥彦村では大きな災害はなく、住民は「だいじょうぶ」と思っている人も多い。

ハザードマップを見れば、急峻な弥彦山系や西川水系を有し、宅地に隣接して急傾斜地の地すべりや崖崩れ、河川氾濫による水害など危険性をあらためて認識させられる。

弥彦村防災訓練では、地域ごとの事情にあわせ、より具体的な災害を想定して、住民一人一人がどのように行動すればよいのか考え、さらに弥彦村防災対策はこれでよいのかを各地の被災地を教訓に、今一度見直す必要があると考えます。(H)

発行責任者 武石雅之

編集委員会 本多隆峰 柏木文男

田中満男 板倉恵一

印刷所 弥彦村 イナバ印刷